

## 茅野市地域創生総合戦略の数値目標及び KPI に対する意見

2018/8/10

### 1. KPI：鹿肉等を活用する企業の誘致

「現状と今後の見込み」の説明からすると、KPI の達成は困難であると思える。

鹿肉等の広域での搬出と迅速な処理には今、各地で検討されている「ジビエカー」の導入などが必要となり、行政の積極的な関与が不可欠と考える。長野市においてはジビエカーを導入し、処理施設の設立も行政主導で実施すると聞いている。富士見においてはジビエカーを利用しないが、いずれにしろ、企業誘致のため諸条件を整える積極的な活動をお願いしたい。

また、ジビエの消費に関しては、長野県の HP である「信州ジビエ」に紹介されている茅野市内の取扱店は2店のみであり、その内1店はハイグレードなレストランである。茅野市民が気楽に食べることができるメニューを取り揃えた店舗を増やすように積極的な働きかけをお願いしたい。

茅野市において増え続ける鳥獣被害を止め、豊かな八ヶ岳の自然を守り、捕獲した大切な命を無駄にしない活動が茅野市の理念に合致すると考えますので、取り組みの強化をお願いいたします。

- A 茅野市のシカの年間捕獲目標頭数は 1,500 頭としており、そのうち 1,350 頭を罠による捕獲、150 頭を銃による捕獲で実施することとしています。平成 29 年度の捕獲実績は 1,205 頭であり、罠で 1,074 頭、銃で 131 頭捕獲しました。

鳥獣による農作物への被害を受け、鳥獣被害対策実施隊は、国からの交付金や、市の委託料等により捕獲を実施しており、年々農作物被害は減少しています。

ジビエ振興については、実施隊（猟友会）の理解と協力が必要不可欠であること、また現状では年間を通して捕獲個体を安定供給することが難しいことから、新しい方策を模索することが必要と考えております。特に農作物被害の減少のため捕獲活動をしている猟友会に対して、ジビエ振興という新たな政策により負担を強いることは慎重に検討していかなければなりません。

ジビエカーの導入に関しては、上記の状況と管理運営する者が今のところいないことから導入は検討していませんが、鹿肉等を活用する企業の誘致には、安定した鹿肉の供給方法や、ジビエ料理に限らない鹿肉の活用方法などの多方面からの調査研究が必要であると考えております。

また、企業の誘致については、まずは当市内でジビエを提供している飲食店等を知っ

ていただくことが第一だと考えております。ご指摘のとおり、鹿肉等を活用する企業の誘致の達成は困難な道のりではありますが、県HPにある「信州ジビエ」に紹介されている店舗以外にも、当市内にジビエを提供する店舗がいくつかあります。そういった店舗を知ってもらうことから、ジビエ振興に取り組んでいきたいと考えております。